



■ 名 前 (ふりがな)	能田 誠通
■ グループ名	
■ 学校名	中島町立中島東小学校
■ 学 年	3年
■ 年 齢	9歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	能田尚幸 (父)

■ レポートした場所	ふれあいビーチ・アミアゲ
■ レポートの題名	お父さんとぼくのアミアゲ・ビーチ
■ 内 容	<p>ぼくは瀬戸内海の中にぽつんとかぶ島に住んでいる小学校3年生です。島のまわりは全部海なので、ぼくたちの町の学校には、プールがありません。そのため、ぼくたちの学校は平成8年に整備された「ふれあいビーチ・アミアゲ」という砂浜で水泳の授業をしたり、夏休み中は泳いだりしています。ぼくのお父さんに聞いてみると、小学校のときにここで体育の授業をしたり、水泳検定をしたりしたそうです。</p> <p>むかしの写真を見てみると、今とはだいぶ様子が違っていています。昔は、橋みたいなものが見へとつづいています。お父さんに聞いてみると、それは真珠を養殖するいかだにつづくさん橋でした。砂浜には真珠貝の貝殻がたくさん落ちていて、どこでも泳ぐことができたそうです。</p> <p>今もむかしと同じように砂浜が長かつづいています。でもむかしと今の砂浜はちがうそうです。今の砂浜は、砂をたくさんよそから運んできて埋め立ててつくった人工の砂浜なのだそうです。ぼくは、自然のままの砂浜だと思っていたのでびっくりしました。埋め立てをして、道路を広げたり、キャンプ場をつくったり、シャワー施設をつくったりしました。毎年8月の終りには、トライアスロンに出場する選手たちがここでキャンプをしています。ここの前の道路は、ランのコースなので、選手家族たちが応援をします。埋め立てでせまい道路から広い道路に変わって、トライアスロンをする選手にとっても、車を運転する人にとっても安心して走ることができるようになりました。</p> <p>埋め立てた今でも、むかしと同じように海はきれいで、ぜったいよその海には負けません。しかし、ここにいた魚や貝の仲間は住むところが</p>

なくなったのが残念です。

ぼくの町では、今、砂浜の埋め立て工事が行われていますが、これ以上埋め立てをしてほしくはありません。だから、ぼくは便利でなくても美しい砂浜を少しでもむかしのままで残してほしいので、砂浜をきれいにする「かんかんウォーク」などのボランティアをつづけていきたいと思います。

むかしの様子



●愛媛県温泉郡中島町大浦

村上節太郎撮影 愛媛県温泉郡中島町教育委員会提供

今の様子

